

平成29年度四国地区市町村教育委員会協議会 祝辞

平成29年11月9日(木)

松山市立子規記念博物館 4階 講堂

平成29年度四国地区市町村教育委員会協議会の開催を、心からお喜び申し上げますとともに、皆様方には、日ごろから教育行政の推進のため、格別の御尽力をいただいておりますことに深く敬意を表します。また、本日は四国各地から本県を代表する観光地、道後にお越しいただいたことにつきまして、心より歓迎申し上げます。

さて、愛媛県におきましては、今年度9月末から10月末まで、64年ぶりに、初の単独開催となります「愛顔つなぐえひめ国体」と、初めてとなります「えひめ大会」が開催されましたが、四国各県はもとより、日本全国各地から来県いただいた選手が力強く躍動する姿は、多くの夢や感動をもたらしてくれました。

県内各市町におかれましては、子どもたちが大会に積極的に参加できるよう、花いっぱい運動への参加、全国各県の手作り応援のぼり旗の作成、また、実際の試合を小中学生が観戦し、他県チームの選手に大声援を送っていただくなど、工夫をこらした様々な企画を実施していただきました。また、愛媛以外の自治体におかれましても、選手団の派遣やサポートなど、多くの御配慮をいただきましたが、特に、高知県さんにおかれましては、愛媛県外での開催として、水泳の飛込、カヌー競技、クレール射撃を実施していただき、本当にお世話になりました。大会運営に御尽力いただいた皆様に対しまして、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

国体期間中は、県内各地で地域の特産物や郷土料理をふるまったり、地区全体で選手団の宿泊や食事などのお世話をする共同民泊を行ったりするなど、大会参加者との積極的な交流を図っていただいたところですが、これらの対応は、愛媛のみならず、徳島、香川、高知を含めた、1200年あまりにわたる四国全体の遍路文化の歴史によって育まれた「お接待の精神」によるおもてなしであり、四国ファンの獲得や、四国遍路の世界文化遺産登録に向けた気運の一層の向上、ひいては、思いやりの心を持った子どもたちが増えることで、いじめや体罰のない、みんなの命を大切にする学校づくりにもつながっていくものと確信しております。

さて、最近の動きといたしましては、次期学習指導要領が示され、道徳の教科化や小学校における英語の教科化、また、大学入試の英語の民間団体試験導入など、大きな改革に注目が集まっているところであります。また、主体的・対話的な深い学び、いわゆるアクティブラーニングに向けた授業改善、地域と学校の連携による社会に開かれた教育課程などといった、新たな方向性が打ち出されております。

愛媛県教育委員会といたしましても、国の動きを注視しながら、市町教育委員会との連携を密にし、子どもたちによりよい教育環境を与えられるよう努めますとともに、

教員の長時間労働や部活動指導体制といった職場環境の改善にも努めて参りたいと考えておりますので、各地域におかれましても、課題解決に向けて取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

様々な制度改革が進行中ではありますが、皆様方が本日の会議を通じて、相互に連携を強化しながら、それぞれの知恵や工夫、情報の共有を図り、未来を拓く子どもたちの育成に取り組まれることは非常に有意義なことと存じております。

終わりに、各市町村における教育行政の益々の御発展と、本日御出席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。